

● 街 路

市街地内の道路である街路は、自動車交通等を円滑に処理する交通機能のほか、上下水道や電力等の公共施設を収容する空間機能、火災時の延焼を抑止する防災機能、更には市街地を形成する機能等を有し、街づくりの基本となる施設です。

管内では、慢性的な交通渋滞の緩和を図り道路利用者の安全を確保するため、青森市内の2路線で整備を進めています。



3・4・2号 西滝新城線

完成予想図

(単位：百万円)

令和7年度 主要事業概要

事業名	路線名	施工箇所	全体計画	R6年度まで	R7年度予定
道路改築	3・5・4号 堤町通り浜田線	青森市野 青奥	H24～ C=2,683百万円 L≒490m W=15～18m	C=2,511百万円 調査、用地、 補償、工事	C=105百万円 補償、工事
	3・4・2号 西滝新城線 (新城1工区)	青森市城 青新	R2～ C=2,900百万円 L≒570m W=18m	C=653百万円 調査、用地、 補償	C=223百万円 調査、用地、 補償
	3・4・2号 西滝新城線 (新城2工区)	青森市城 青新	R5～ C=2,070百万円 L≒850m W=18m	C=116百万円 調査	C=101百万円 調査、用地、 補償

● 都市公園

次の3つの公園の整備・管理を行っています。

■新青森県総合運動公園【都市公園】(整備)

■青い森公園【都市公園】(管理)

■青い森セントラルパーク (管理)

このうち、新青森県総合運動公園は、全国規模の各種大会開催による県民のスポーツ振興や、スポーツを通じた県民福祉の充実を図るため、平成8年度整備に着手し、青い森アリーナ・テニスコートなど27.9haのエリアが平成15年1月に供用開始されました。その後、多目的広場等(31.5ha：H21.4供用)、球技場(3.2ha：H24.6供用)、新陸上競技場区域(23.4ha：R元.9供用)の供用を開始し、令和6年4月には、青森県初となる日本水泳連盟公認の屋内50mプールが供用開始されました。

本公園は、これまで「冬季アジア大会(H15)」や「全国高校総体(北東北総体)(H23)」のメイン会場となったほか、令和8年開催予定の「国民スポーツ大会」及び「全国障害者スポーツ大会」でもメイン会場として利用される予定であるなど、本県のスポーツ振興や、スポーツレクリエーションの多様化に大きく貢献しています。



令和7年度 主要事業概要

(単位：百万円)

公園名	施工箇所	全体計画	R6年度まで	R7年度予定	摘要
新青森県 総合運動公園	青森市田 宮	H8～R10 C=79,342百万円 A≒86.0ha	C=66,698百万円 ●多目的広場 ●さくら広場 ●球技場 ●陸上競技場 ●屋内50mプール	C=60百万円 公園施設整備 C=281百万円 公園施設更新	供用開始 ●H14【青い森アリーナ】【テニスコート】 ●H21【多目的広場】【さくら広場】 ●H24【球技場】 ●H31(R1)【陸上競技場】 ●R6【屋内50mプール】
青い森公園	青森市長 島	H6開園 A≒1.8ha	公園施設維持管理	C=43百万円 公園施設維持管理	複合遊具外施設1式
青い森 セントラルパーク	青森市野 奥	H15開園 A≒7.6ha	公園施設維持管理	C=16百万円 公園施設維持管理	旧国鉄青森操車場跡地